

令和 7 年 度
専門スポーツ部・少年スポーツ部
合 同 部 会

* 期 日 令和7年6月14日（土）午後7時

* 会 場 総合体育館研修室 1 ・ 2

NPO 法人大木町スポーツ協会

次 第

1. 開会行事

- 理事長挨拶

2. 事業説明

- (1) 令和7年度スポーツ協会加盟団体
- (2) 令和7年度スポーツ協会役員・理事について
- (3) 令和7年度スポーツ協会事業及び協力について
- (4) 助成金交付について **別紙1** 申請書提出 7/16 (火)迄
(申請・報告は別紙) 報告書提出 事業終了後1カ月以内

- ・支給日時 7/18 (金) 13:00~19:00
- ・支給場所 大木町総合体育館 事務室
- ・支給条件 提出された申請書の内容
- ・持参物 印鑑

※当日都合の悪い方は、都合のよい日を連絡下さい。

電話・FAX：0944-32-1288

- (5) 『大木町スポーツ教室』開設委託について **別紙2**
- (6) ホームページ加盟団体紹介に伴う情報提供について **別紙3**
URL (ホームページアドレス) <https://www.oki-sports.jp>
- (7) 県民スポーツ大会について **別紙4**

3. 説明：情報提供

- (1) NPO 法人大木町スポーツ協会 令和7年度運営方針 【スポーツ協会】
- (2) 部活動地域展開 大木町進捗状況 【こども未来課】
- (3) 総合体育館空調整備について 【地域づくり課】

4. 閉会行事

令和7年度 大木町スポーツ協会加盟団体

専門スポーツ部会

No.	団 体 名	会 長	事 務 局 長 正 会 員	加盟クラブ 人 数	団体主催事業
1	大木町 軟式野球連盟	大藪 昭男	広松 政則 田中 一成	4クラブ 67名	
2	大木町 バレーボール連盟	荒巻 幹生	廣松 輝和 荒巻 幹生	3クラブ 54名	
3	大木町 テニスクラブ	福浦 徹	諸富 哲 諸富 哲	1クラブ 14名	
4	大木町 剣友会	小川 正生	野口 幹矢 野口 幹矢	1クラブ 20名	
5	大木町 レクリエーション協会	石川 信男	深町 泰裕 田中 輝昭	1クラブ 12名	
6	大木町グラウンド ゴルフ協会	福島 市雄	池上 正敏 田中 喜佐雄	1クラブ 41名	

令和7年度 大木町スポーツ協会加盟団体

少年スポーツ部会

No.	団 体 名	会 長	事 務 局 長 正 会 員	加盟クラブ 人 数	団体主催事業
1	大木ジュニアーズ (少年軟式野球)	北島 照己	龍 健治 龍 健治	1クラブ 22名	
2	大溝ホークス (少年軟式野球)	古賀 卓也	平木 健太 古賀 卓也	1クラブ 13名	
3	大木Jr女子 バレーボールクラブ	吉武 秀悟	古賀 史織 柴田 洋平	1クラブ 12名	
4	大木Jr男子 バレーボールクラブ	岡山 鉄也	中垣 清文 中垣 清文	1クラブ 17名	
5	大莞少年 剣道会	今村清二郎	大坪 功人 大坪 功人	1クラブ 11名	
6	大溝少年 剣道会	北島 高順	田中 栄子 中村沙也香	1クラブ 13名	
7	糸東流空手道 大木支部	川村 賢哉	川村 賢哉 川村 賢哉	1クラブ 12名	
8	大木フット ボールクラブ	坂井 栄介	坂井 栄介 坂井 栄介	1クラブ 20名	
9	アスリート アカデミー大木	井上 慎介	末次亜沙美 末次亜沙美	1クラブ 10名	
10	大木Jr ソフトテニスクラブ	徳永 貴史	廣松 恵美 廣松 恵美	1クラブ 7名	
11	大木卓球ジュニア	吉住 勝彦	吉住 勝彦 吉住 勝彦	1クラブ 16名	

N P O 法人大木町スポーツ協会（令和 7 年度～ 8 年度）

事務局	郵便番号	三潞郡大木町大字八町牟田 6 1 7 - 1	TEL・FAX	0 9 4 4 - 3 2 - 1 2 8 8
所在地	830-0416	大木町総合体育館内	E-mail	sogotaiikukan@shirt.ocn.ne.jp

役職名	氏 名	選 出 区 分
顧 問	境 良 典	旧大木町体育協会会長
顧 問	長 瀬 光 市	大木町副町長
顧 問	北 原 孝 徳	大木町教育長
理事長	山 北 清 四 郎	学識経験者（旧大木町体育協会理事長）
副理事長	松 延 聡	学識経験者（旧大木町体育協会理事）
理 事	徳永 道	スポーツ推進委員
理 事	堤 沙 織	スポーツ推進委員
理 事	田 中 喜 佐 雄	専門スポーツ部会（グラウンドゴルフ協会）
理 事	川 村 賢 哉	少年スポーツ部会（糸東流空手道大木支部）
理 事	石 川 信 男	学識経験者
理 事	深 町 英 輔	学識経験者
監 事	眞 邊 泰 則	社会教育委員の会
監 事	荒 尾 美喜男	学識経験者
事務局長	石 崎 新 士	スポーツ協会事務局長
事務局	本 村 太 一	スポーツ協会事務局員
事務局	内 野 佳 子	スポーツ協会事務局員
事務局		

NPO法人大木町スポーツ協会 理事輪番表

＜専門スポーツ部＞

順 番	団 体 名	時 期
1	大木町軟式野球連盟	令和 5年度 ～ 令和6年度
2	大木町グラウンドゴルフ協会	令和 7年度 ～ 令和8年度
3	大木町剣友会	令和9年度 ～ 令和10年度
4	大木町テニスクラブ	令和11年度 ～ 令和12年度
5	大木町レクリエーション協会	令和13年度 ～ 令和14年度
6	大木町バレーボール連盟	令和15年度 ～ 令和16年度

＜少年スポーツ部＞

順 番	団 体 名	時 期
1	糸東流空手道大木支部	令和 7年度 ～ 令和 8年度
2	大溝ホークス	令和 9年度 ～ 令和10年度
3	大溝少年剣道会	令和11年度 ～ 令和12年度
4	大木ジュニア女子バレーボールクラブ	令和13年度 ～ 令和14年度
5	大木フットボールクラブ	令和15年度 ～ 令和16年度
6	大木ジュニア男子バレーボールクラブ	令和17年度 ～ 令和18年度
7	アスリートアカデミー大木	令和19年度 ～ 令和20年度
8	大木ジュニアソフトテニスクラブ	令和21年度 ～ 令和22年度
9	大木ジュニアーズ	令和23年度 ～ 令和24年度
10	大莞少年剣道会	令和25年度 ～ 令和26年度
11	大木卓球ジュニア	令和27年度 ～ 令和28年度

* 退会があった場合は、繰り上げる。

* 新規入会があった場合には、最後の順に加える。

令和7年度 NPO法人大木町スポーツ協会事業計画

【主催大会事業等】

期 日			事 業 名	会 場	内 容
月	日	時刻			
4	20(日)	10:00	軽スポーツ体験会（1回目）	総合体育館 木佐木小運動場	地域・団体等対象
5	11(日)	9:00	第44回大木町総合球技大会	総合体育館 運動公園	レディースソフトバレーボール 壮年ソフトボール
6	29(日)	9:00	第25回町民ソフトバレーボール大会	総合体育館	地区公民館の部
7	13(日)	10:00	軽スポーツ体験会（2回目）	こっぽーっとホール	地域・団体等対象
9	7(日)	9:00	第61回筑後バレーボール選手権大会	総体・大木中・大莞小	男子・女子・ママの部
9	28(日)	9:30	第2回大木町小学生長縄跳び大会	総合体育館	地区子ども会・育成会対象
10	12(日)	9:00	町民体育大会	各小学校運動場	全町民
10	26(日)	9:00	第26回町民グラウンドゴルフ大会	運動公園	個人・地区公民館対抗 雨天11月3日(祝)
11	23(日)	9:00	第37回町民綱引大会	総合体育館	小学生・一般男子・一般女子
2	8(日)	9:00	第12回大木町リレーマラソン大会	アクアス周辺歩道	小学生・一般男子・一般女子・ファミリー・ 職場仲間・マスターズ・シニア・男女混合
4月～3月			地域スポーツ普及事業・スポーツ教室・ 地域支援事業	町内施設	地区・スポーツ協会加盟団体等

【県民スポーツ大会等事業】

4	27(日)	第4回福岡県障がい者スポーツ大会	博多の森陸上競技場他	陸上競技、ボウリング 他
5	18(日)		久留米総合スポーツセンター他	フライングディスク、卓球 他
8	17(日)	第68回福岡県民スポーツ大会 夏季大会	桃園市民プール	水泳
9	20(土)～ 21(日)	第68回福岡県民スポーツ大会 秋季大会	北九州市・京築地区	総合開会式 20日(土)
11	16(日)	第12回市町村対抗「福岡駅伝」冬季大会	筑後広域公園	

【九州・全国大会等出場助成】 個人や団体が九州大会・全国大会に出場した場合

【その他の事業】 スポーツ協会加盟団体（21団体）の運営費・主催大会開催時の助成

【会議等関係】

期 日			事 業 名	会 場	内 容
月	日(曜)	時刻			
4	10(木)	19:30	地区公民館長・体育部長会議	総合体育館	
4	4(金)	18:00	第1回 スポーツ推進委員会議	総合体育館	
4	25(金)	19:00	総合球技大会代表者会議	総合体育館	大会申合事項・組合抽選
5	14(水)	9:00	スポーツ協会 会計監査	総合体育館	
5	16(金)	19:00	第1回 スポーツ協会理事会	総合体育館	
5	31(土)	18:00	NPO法人大木町スポーツ協会定期総会	総合体育館	R7年度予算・事業計画他
6	14(土)	19:00	スポ協加盟団体合同部会	総合体育館	R7年度助成事業申請・意見交換等
6	27(金)	19:00	第2回 スポーツ協会理事会	総合体育館	
7		20:00	筑後バレーボール選手権大会実行委員会	総合体育館	大会運営 招待チーム等
7	11(金)	19:00	第2回 スポーツ推進委員会議	総合体育館	
7	25(金)		福岡県民スポーツ大会体都市代表者会	北九州市	県体 水泳競技について
7	26(土)	19:00	小学生長縄跳び大会事業説明会	総合体育館	事業概要、大会要項説明
8	2(土)	16:00	福岡県民スポーツ大会夏季大会説明会 激励会	総合体育館	
8	8(金)	19:00	第3回 スポーツ協会理事会	総合体育館	
8	19(火)	19:00	地区体育部長会議	総合体育館	町民体育大会説明
8		20:00	筑後バレーボール選手権大会実行委員会	総合体育館	大会運営 組合せ等
9	2(火)	13:30	福岡県民スポーツ大会秋季大会代表者会議、 「福岡駅伝」市町村代表者会議	北九州・京築地区	
9	7(日)	20:00	筑後バレーボール選手権大会実行委員会	総合体育館	大会運営 招待チーム等
9	12(金)	19:00	県体 秋季大会監督会議 選手結団式	総合体育館	県体秋季大会出場他
9	17(水)	19:00	第3回 スポーツ協会理事会		綱引き大会他
9	19(金)	19:00	第4回 スポーツ推進委員会議	総合体育館	綱引き大会他
11	7(金)	19:00	第4回 スポーツ推進委員会議	総合体育館	
11	12(水)	19:30	町民綱引き大会代表者会議	総合体育館	大会申合事項・組合抽選
11	28(金)	19:00	第5回 スポーツ協会理事会	総合体育館	次年度事業等
1	23(金)		「福岡駅伝」市町村代表者会2	アクション福岡	
2	20(金)	19:00	第5回 スポーツ推進委員会議	総合体育館	
3	6(金)	19:00	第6回 スポーツ協会理事会	総合体育館	総合球技大会他

【子ども体験学習受託事業】

子どもスポーツ教室（10回）、小学生自然体験事業／ジュニアリーダー研修（事前研修3回、一泊研修1回）、わんぱく体験隊事業（前期5回、後期5回）

NP0法人大木町スポーツ協会助成金交付要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、NP0法人大木町スポーツ協会（以下「スポ協」という。）が、加盟団体（以下「団体」という。）の団体運営及び団体が行う主催大会事業に対し助成金を交付することに関し必要な事項を定める。

(助成対象事業)

第2条 スポ協は、団体が実施する事業等に対し、予算の範囲内で助成金（団体運営助成金、主催事業助成金）を交付する。

(助成対象の事業計画)

第3条 助成金を希望する団体は、年度当初に当該年度の「事業計画書」をスポ協に提出しなければならない。

(助成事業の内示)

第4条 スポ協は、「事業計画書」により予算の範囲内において「助成金」を団体に通知する。

(助成金の交付申請)

第5条 団体は、内示額の範囲内で、「団体運営助成金交付申請書」（様式1号）をスポ協に提出しなければならない。また、必要に応じて、「主催事業助成金交付申請書」（様式2号）をスポ協に提出しなければならない。

(助成金の決定・交付)

第6条 スポ協は、団体からの交付申請により交付決定を行い、助成金を交付する。

(事業実施報告書の提出)

第7条 団体は、主催事業終了後1ヶ月以内に「主催事業実施報告書」（様式3号）をスポ協に提出しなければならない。

なお、団体運営助成事業については、予算・決算を記載した「総会資料」の提出をもって実施報告とする。

(その他)

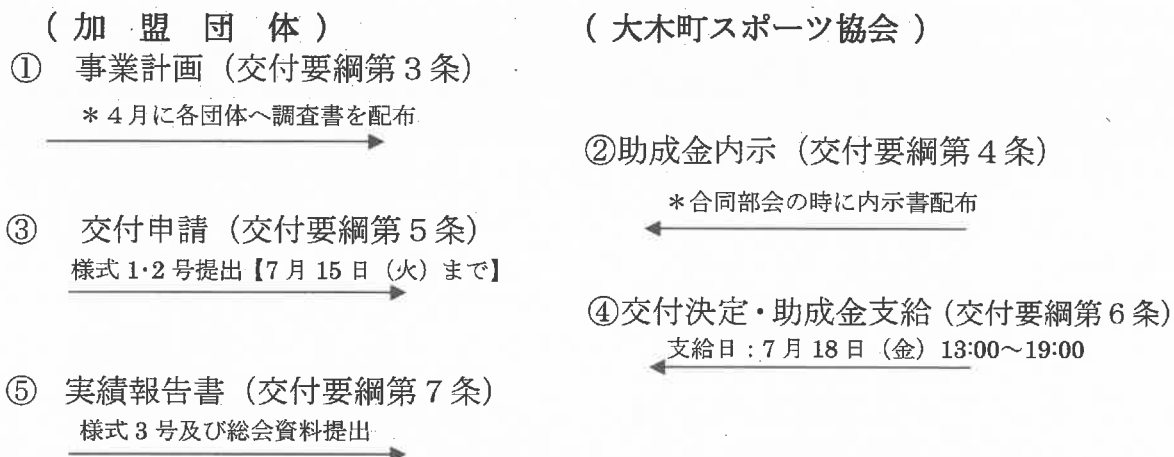
第8条 本要綱に規定のない場合は、関係者との協議により行う。

スポーツ協会主催事業交付金留意事項

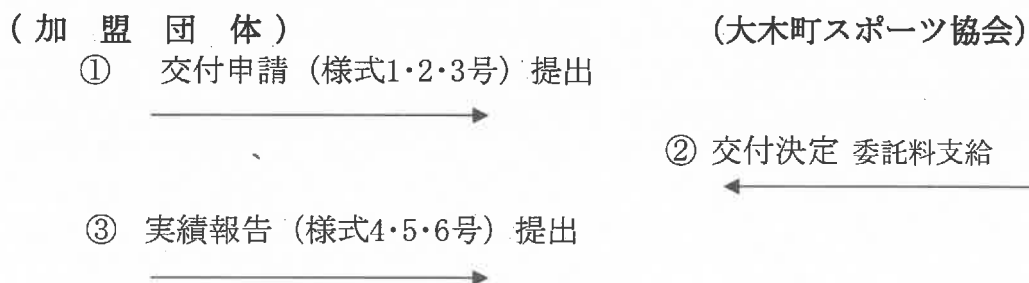
1. **主催事業の定義** 当該団体内だけ対象とした事業は主催事業とみなさず、広く外部に参加を募り開催されたものを主催事業とする。
2. **主催事業の回数** スポ協が助成対象とする事業の回数は、専門スポーツ部が2回まで、少年スポーツ部は1回のみを主催事業の助成対象とする。
3. **主催事業助成金額** 対象とする主催事業の助成金額は、専門スポーツ部1事業につき2万円、少年スポーツ部1事業につき3万円とする。

NPO法人大木町スポーツ協会助成金支給の流れ

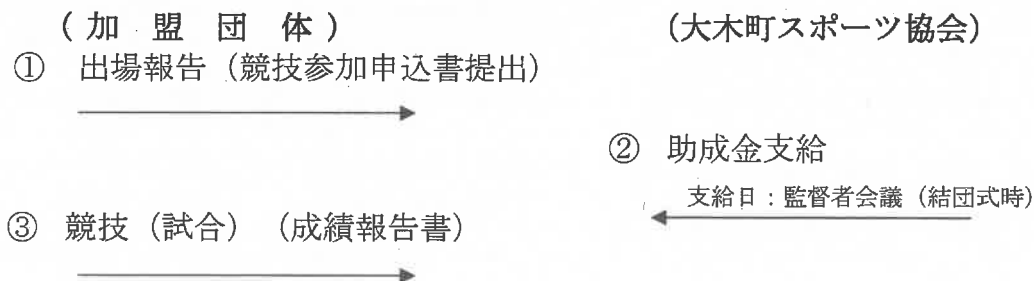
I) 団体運営助成金 II) 主催大会事業助成金



III) 地域スポーツ普及助成事業 (スポーツ教室開催委託事業)



IV) 県民スポーツ大会出場助成金



V) 九州・全国大会出場助成金

* 別途 大木町スポーツ協会スポーツ大会等出場助成金交付要綱に準じる

(様式1号)

〔記入方法〕

令和 7年 ○ 月 ○ 日

NPO法人大木町スポーツ協会
理事長 山北 清四郎 殿

団 体 名 大木町○○○連盟
代表者氏名 会 長 ○○ ○○ 印

令和7年度 団体運営助成金交付申請書

標記助成金について、下記のとおり関係書類を添えて申請いたします。

記

1 申請金額

○ ○ ○ ○ ○ 円

※報告書は総会資料のみ

内示の金額を記入

記 入 例

令和 年 月 日

NPO法人大木町スポーツ協会
理事長 山北 清四郎 殿

団 体 名
代表者氏名

印

令和7年度 主催事業助成金交付申請書

標記助成金について、下記のとおり申請いたします。

記

1 申請金額

円

2 実施計画

実施年月日	事業(大会)名	会場名	備考
	第〇回〇〇大会	大木町 総合体育館	

3 収支予算

(収入)

(単位:円)

科 目	予 算 額	説 明
助成金	〇 〇 〇 〇	大木町スポーツ協会
参加費	〇 〇 〇 〇	参加チーム数 〇チーム
団体会費	〇 〇 〇 〇	団体会計より
合 計		

(支 出)

(単位:円)

科 目	予 算 額	説 明
使用料	〇 〇 〇 〇	会場借上料
消耗品費	〇 〇 〇 〇	事務用品費
賞品費	〇 〇 〇 〇	参加賞・賞品代
通信費	〇 〇 〇 〇	ハガキ・切手・郵送費
合 計	〇 〇 〇 〇	

(様式3号)

記入例

令和 年 月 日

NPO法人大木町スポーツ協会
理事長 山北 清四郎 殿

団体名
代表者氏名

印

令和7年度 主催事業実施報告書

標記事業について、下記のとおり報告します。

記

1. 実施報告

実施年月日	事業(大会)名	会場名	備考
	第〇回〇〇大会	大木町 総合体育館	

2. 収支決算

(収入)

(単位:円)

科目	決算額	説明
助成金	〇〇〇〇	大木町スポーツ協会
参加費	〇〇〇〇	参加チーム数 〇チーム
団体会費	〇〇〇〇	団体会計より
合計	〇〇〇〇	

(支出)

(単位:円)

科目	決算額	説明
使用料	〇〇〇〇	会場借上料
消耗品費	〇〇〇〇	事務用品費
賞品費	〇〇〇〇	参加賞・賞品代
通信費	〇〇〇〇	ハガキ・切手・郵送費
合計	〇〇〇〇	

提出書類一覧

項 目	提出期限	提出物	備 考
助成金の交付(団体運営助成金、主催事業助成金)	7月15日(火)まで	○申請書類 様式1・2号	支給日:7月18日(金) 13:00~19:00 総合体育館事務室
スポーツ教室開催受託事業希望調査	7月15日(火)まで *以後は随時	○様式1号	提出後、スポ協事務局と打ち合わせして進めます (希望団体のみ)
加盟団体紹介コーナー情報提供記入表(ホームページ用)	7月15日(火)まで	○記入用紙を提出(1枚)	写真データもあればお願いします(随時受付)
県民スポーツ大会(夏季大会)出場申込	6月27日(金)まで		必要情報をスポ協事務局までお知らせください
県民スポーツ大会(秋季大会)出場申込	7月16日(水)まで	○参加希望調査表 ○競技参加申込書	* 競技参加申込書は、福岡県スポーツ協会のホームページからダウンロード 福岡県スポーツ協会→県民スポーツ大会→申込書(秋季大会) * 9月12日(金)19:00~結団式(総合体育館)

《問い合わせ先》

大木町スポーツ協会 電話・FAX0944-32-1288 (月曜日 休館)

令和7年度 大木町スポーツ協会運営方針

大木町スポーツ協会組織理念

【組織スローガン】

スポーツを通して地域に笑顔を！！

《Ⅰ 組織が果たすべき使命；ミッション》

『町民の皆さんがスポーツを通して健康になり、より豊かでより幸せになる』

《Ⅱ 将来のありたい姿；ビジョン》

- ① スポーツで健康な人が多い町にする
- ② スポーツで地域のキズナが強い町にする
- ③ 様々なスポーツ競技で活躍する選手を増やし、町民に元気と活力を与える

《Ⅲ 組織が共通して持つ価値観；コアバリュー》

- ① スポーツを身近なものとする
- ② スポーツに取り組みやすい環境を整える
- ③ スポーツを専門的に学び実践できる環境を整える
- ④ 地域スポーツ団体の支援に取り組み、持続可能なスポーツ環境を整える

■ 令和7年度具体的取組 ■

① 地域スポーツの振興（『いつでも、どこでも、だれでも』スポーツ）

→ スポーツ大会等

の充実・改善

（町民体育大会の開催）

- ・ 広報活動や募集方法、内容の工夫による参加者増加策
- ・ 公民館との連携によるスポーツを通じた絆づくり
- ・ 住民が少ない地域が参加しやすい募集体制と調整

→ 地域行事等

の支援

- ・ 地域でできるスポーツ行事の紹介（軽スポーツ体験会複数開催）
- ・ 軽スポーツ道具の貸出
- ・ 相談業務の充実

イベントによる意識の向上と絆づくり

運動の日常化の受け皿づくり

- ・ スポ協 HP の充実
- ・ 町広報紙
- ・ 町 LINE の活用

② スポーツ団体等への支援（研修・交流会、指導者育成事業など）

→ 加盟団体への

意見集約・対応

- ・ 加盟団体の活動充実のための研修会と意見交換
- ・ 助成事業の充実（主催事業・地域スポーツ普及事業助成金の活用）

③ 青少年育成事業への協力・支援（協力事業；わんぱく体験隊・ジュニアリーダー育成事業他）

→ 子どもスポーツ教室などの
体験活動の企画運営

→ 部活動地域移行への協力

- ・ 体験の目的や子どものニーズに沿った内容の工夫
- ・ 実行委員会や関係団体等との連携
- ・ 推進協議会への出席と加盟団体への周知

NPO 法人大木町スポーツ協会「4 年間の実績」について

1. 業務実績とその価値

(1) スポーツ行事の成果と課題

大木町スポーツ協会が主催するスポーツ行事は、以下のように年間 7 事業実施し、コロナ禍前は、多くの町民が参加し賑わっていた。これらの事業は、長年に渡って実施され、町民の憩いと絆づくりの場として親しまれてきた。しかし、コロナ後もほとんどの大会で参加者が激減し、継続することが困難な状況にあった。このことは、住民の参加意欲の低下と地域の絆や組織が抱える課題によるものと考ええる。

そこで、スポーツ協会では、内容の工夫と組織等への働きかけを行い、徐々に参加者が戻りつつある。このことは、スポーツ協会が長年担ってきた「スポーツを通じたまちづくり」の成果と言える。

【 スポーツ行事と参加者の推移 】

月	行事名		コロナ前 R 1	R 4	R 5	R 6
5 月	総合球技大会	ソフトボール	3 3	2 4	2 3 中止	2 4
		ソフトバレー	1 9	7	1 2	1 2
7 月	町民ソフトバレーボール大会		2 0	1 4	2 2	2 4
9 月	筑後バレーボール選手権	男子の部	6	3	3	4
		女子の部	5	2	3	3
		ママさん	1 0	5	1 0	9
9 月	小学生スポーツ交流大会	ドッジボール	1 7	中止	3	長縄跳び 1 7
		ソフトバレー	1 9		1	
10 月	町民グランドゴルフ大会	団体の部	2 1	1 5	1 3	1 2
		個人の部	1 9 地区 7 0 名	1 8 地区 6 5 名	1 9 地区 6 4 名	1 9 地区 6 3 名
11 月	町民綱引き大会	一般男子	2 0	8	1 1	1 2
		一般女子	6	3	4	5
		小学生	1 9	中止	6	1 0
2 月	大木町リレーマラソン大会		40 チーム 2 4 4 名	22 チーム 1 4 4 名	35 チーム 2 3 5 名	38 チーム 2 7 9 名

(2) 子ども 3 事業の状況

スポーツ協会では、小学生を対象とした「子どもスポーツ教室」「わんぱく探検隊」「ジュニアリーダー養成事業」を行っている。これらの事業は、実行委員会組織で実施し、その組織編成から企画、運営までをスポーツ協会が事務局となって行っている。

これらの事業は、青少年育成はもちろん、指導や支援等で関わる多くのボランティアや関係者の絆づくりや人材育成にも繋がっている。また、これらの事業で育った子ども達が成長して、指導的立場になる好循環も生まれている。実際に、「ジュニアリーダー養成事業」で育った 20 代の青年が指導的立場のスポーツ推進員に 3 名も在籍している。まさに、今、重要視されている「子ども真ん中社会」の成果とも言える。

(3) 対外大会等への参加支援

【主な大会と支援内容】

大会等		各種支援事業
県民 スポーツ 大会	夏季大会（水泳）	開会行事等参加、補助、応援等、出場助成金
	秋季大会	開会行事等参加、補助、応援等、出場助成金
	福岡駅伝	開会行事等参加、補助、応援等、出場助成金
九州大会、全国大会		出場助成金

スポーツ協会では、前身の体育協会時代から積極的に大会への支援を行ってきた。また、県民スポーツ大会においては、町行政の代理として、開会式等への参加などの役割を担ってきた。このような、各種スポーツ大会への出場や優秀な成績は、町民に夢と希望を与えるものであり、スローガン『スポーツを通して地域に笑顔を』にも沿っている。

(4) 加盟団体等への支援

大木町スポーツ協会には、11団体の少年スポーツ部と10団体の専門スポーツ部がある。例年、これらの団体の交流の場として、「スポーツ協会加盟団体合同部会」を開催している。最近では、この中で研修会を開いて、関係者の意識向上も図っている。また、スポーツ関係者のネットワークづくりや部活動の地域移行、部員減少の課題への対応など、クラブのニーズや最新の情報に対する意見交換の場としても活用している。

さらに、各クラブでの体験会などのイベントへの補助金を通じたクラブ活性化への支援も行っている。

(5) 新規事業の取組

【『軽スポーツ体験会』内容と参加者】

年度	内容	参加地区	参加者
令和5年度	ペタンク、ラダーゲッター、ストラックアウト、ダーツ	7地区	24名
令和6年度	ペタンク、モルック、ボッチャ、輪投げ	7地区	41名

軽スポーツ体験会は、地域にスポーツを普及しようとする事業である。軽スポーツの紹介とともに、必要な道具の貸し出しや実施に関する指導や支援なども行うことで、地域でのスポーツ行事を支援する。このことは、地域の活性化やコミュニケーションの場、絆づくりに繋がるとともに、地域づくりに寄与するものである。

2. 今後の方向性 ～新規事業の拡大と効果～

軽スポーツ体験会のように、スポーツの普及振興を図る事業は、スポーツを通じた地域づくりに直接繋がるものであり、スローガン「スポーツを通して地域に笑顔を」を達成する事業である。このように、今後は、地域づくりに繋がる事業を拡げ、より効果があるものにしていくことを進めていく必要がある。大木町スポーツ協会は、その前身である体育協会時代から、町のスポーツ行事や関係業務を担ってきた。長年にわたって、スポーツを通じた地域の絆づくりや活性化に大きく貢献してきた歴史がある。この間、関係者や関係団体との連携も構築してきたことが今の財産となっている。

また、こども3事業のように、スポーツのみならず、広く青少年育成にも関与した事業を続けてきている。ここでも、子ども達や指導などで関わる関係者の人材育成にも繋がっている。つまり、大木町スポーツ協会は、単にスポーツの振興を行うだけでなく、社会教育領域が担う「人づくり」「地域づくり」「繋がりづくり」を実践してきたことで、このような成果を得ることができたと考える。